



藤田観光株式会社
2020年12月期 第3四半期決算説明

2020年11月10日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

当社の取り組み

新型コロナウイルス感染症影響による経営環境の悪化に伴い、緊急対策として**徹底したコスト削減などの構造改革**とともに、**国内需要を確実に取り込む**べく営業施策を推進さらに、大きく変化する事業環境を踏まえ、中期経営計画（2020～2024）を見直し、**新たな事業計画を策定中**

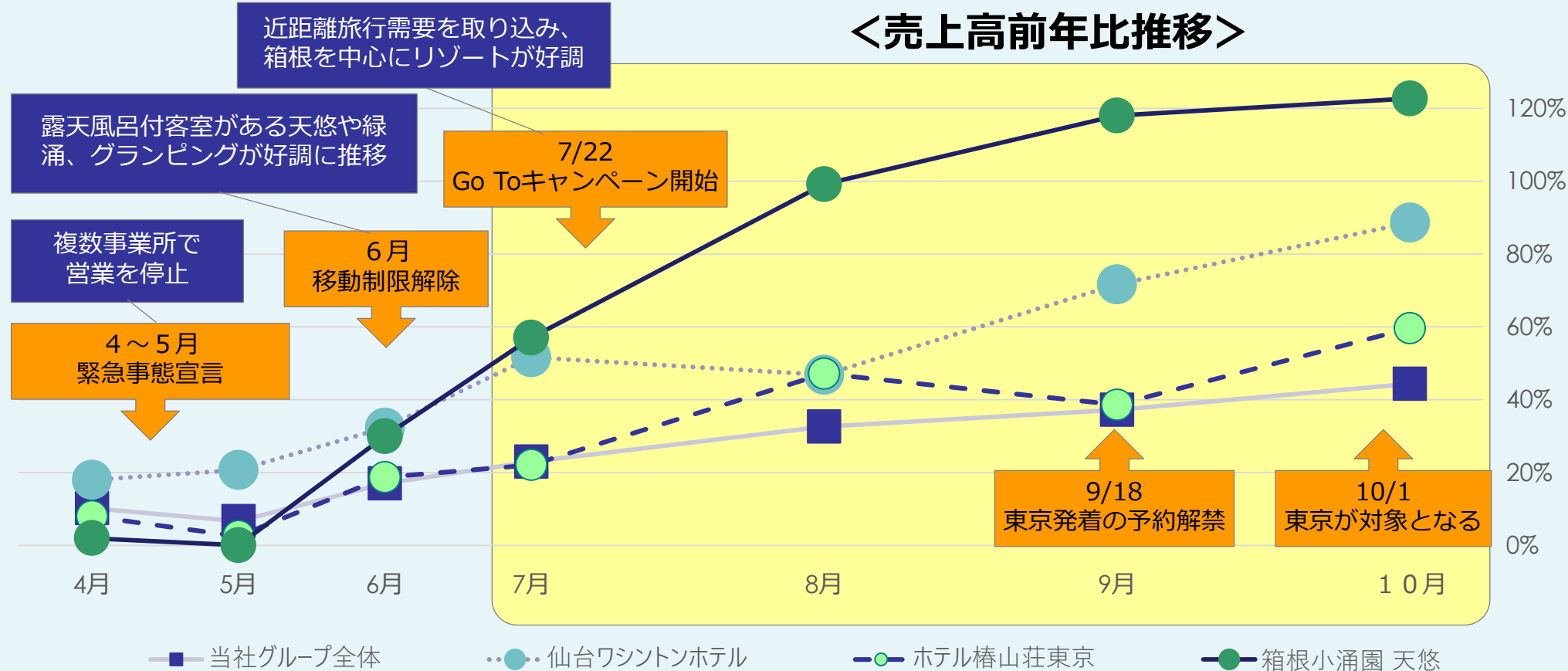
コロナ禍期間中	コロナ禍収束後	アフターコロナ
営業施策 緊急対策 Go toキャンペーンによる国内需要の確実な取り込み コロナ禍収束後に向けた新しい商品開発、展開		
構造改革 緊急対策 徹底的なコスト削減、財務体質の強化		
新たな事業計画の策定・推進		持続性のある利益体質へ

ADR：平均客室単価

回復する国内需要の取り込み

- ▶ 7月22日開始の**Go Toキャンペーン事業**により国内観光マインドが回復傾向
観光需要を積極的に取り込み、箱根を中心に**リゾート事業が好調**に推移
- ▶ さらに、**東京発着の旅行が対象に追加**されたことにより、**9月18日以降予約が順調に進捗**
ルームサービスなどの特典付きプラン販売が奏功し、**ADRが上昇**

東京発着の予約解禁日を含む1か月間で年内の宿泊部門売上が倍増



箱根小涌園 天悠

ADR見込前年比
 10月 +4.5%
 11月 +7.1%
 12月 +2.7%

10月について、平日の集客も好調に推移、10月初旬時点で稼働率が95%を超える

ホテル椿山荘東京

ADR見込前年比
 10月 +11.9%
 11月 +24.1%
 12月 +17.1%

▶ 「箱根小涌園 天悠」

Go Toキャンペーンが開始された7月22日以降稼働率が急激に回復
東京が対象に追加されたことにより10月以降の予約状況も前年以上の水準で推移

▶ 「藤乃煌 富士御殿場」

高まるグランピング需要を取り込み、8月以降は稼働率90%以上、
売上も前年を上回る推移

▶ 「箱根小涌園ユネッサン」

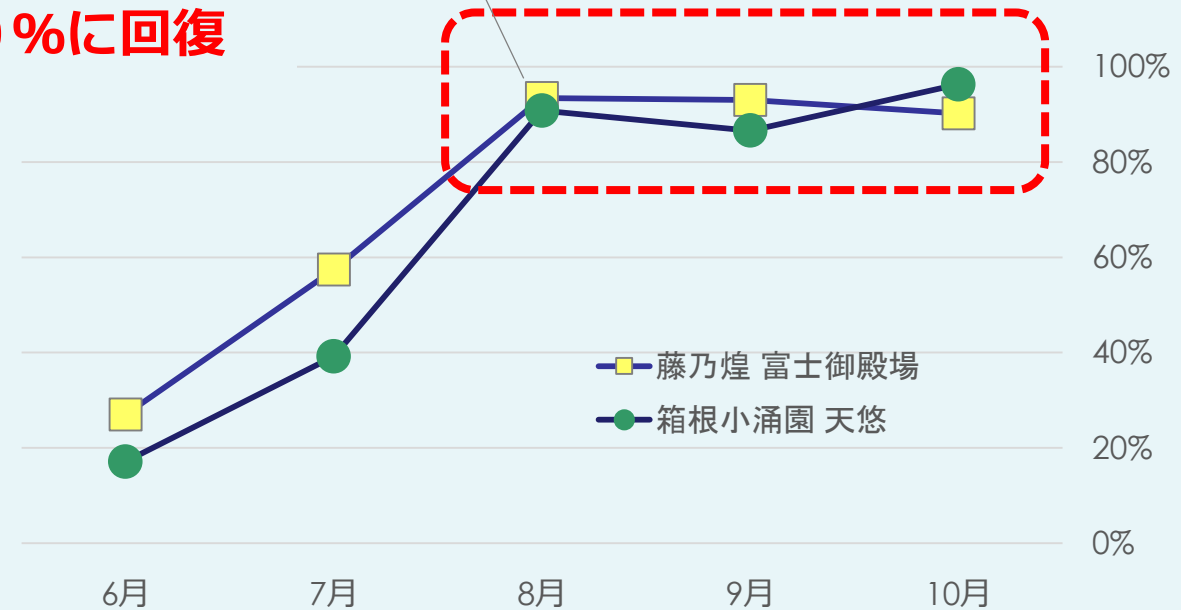
9月には売上が前年比80%、入場人員が前年比70%に回復
「下田海中水族館」の売上は前年並みまで回復



第4四半期リゾート事業の売上は
前年・計画ともに上回る見込み

▶ 「箱根小涌園 三河屋旅館」の開業により、
箱根小涌園全体の顧客層を拡大、さらなる上積みを図る

天悠、藤乃煌ともに
開業以来最高の稼働率を記録



＜稼働率推移＞

箱根小涌園 三河屋旅館

創業140年の老舗旅館を引き継ぎ、10月2日に開業

明治16年創業、孫文や竹久夢二、与謝野晶子など、多くの文人墨客が宿泊した箱根指折りの名旅館。
職人のこだわりが細部に宿るデザインや細工に当時の趣を残します。



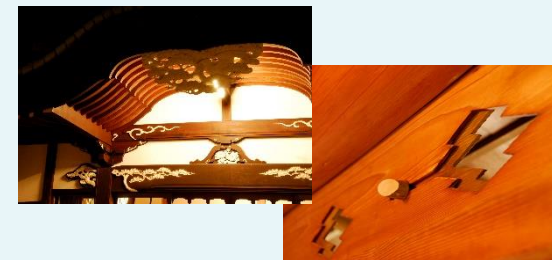
【国登録有形文化財建造物 本館】



【孫文の揮毫が飾られた客室】



【温泉露天風呂付客室】



【職人の技が際立つ唐破風や細工】

- ▶ 露天風呂付客室を含む全25室
- ▶ 平日1泊2食付2名1室利用時
お一人様20,000円～
(消費税、サービス料込)

箱根小涌園

新ホテル

旧ホテルの解体工事に着手

箱根小涌園 三河屋旅館

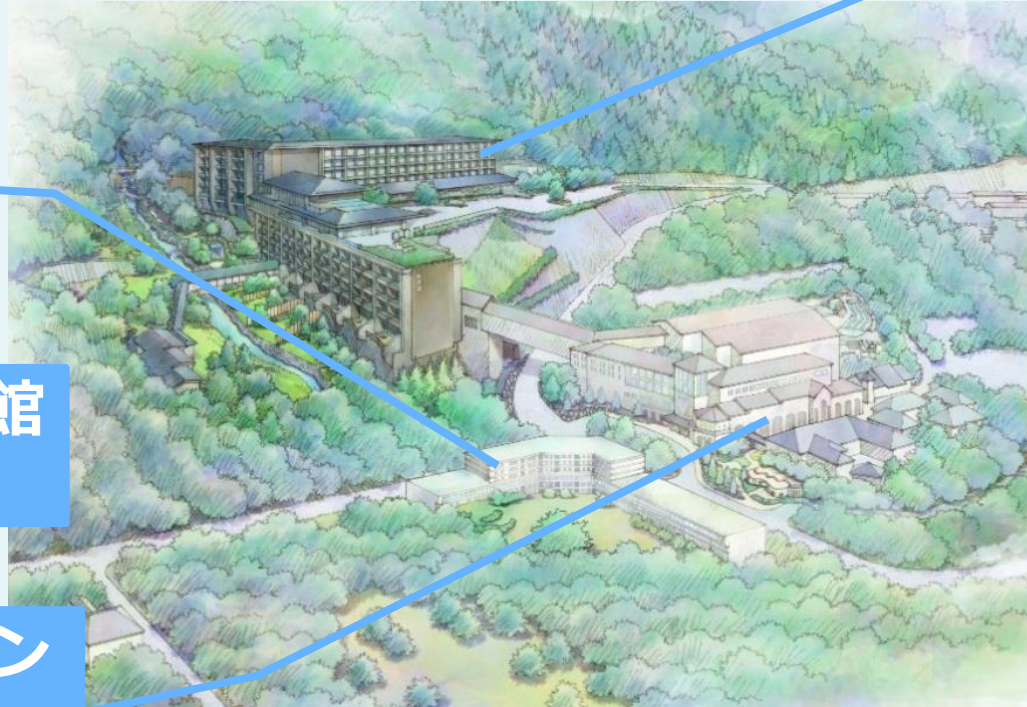
2020年10月2日開業

箱根小涌園 ユネッサン

- ・3密回避のため、繁忙日は完全予約制とし、入場制限、利用時間制限を実施
- ・好評のエヴァンゲリオンとのコラボレーションイベントを12月20日まで延長



- ▶ L.C.Lの湯
エヴァンゲリオンの世界観を温泉で表現



箱根小涌園 天悠

全客室に温泉露天風呂を備えており、3密を避けたプライベート感を贅沢に楽しむことができることが大きな強みとなっている

- ▶ ワークेशनプラン
営業時間外のラウンジスペースを活用し、コワーキングスペースを提供



年内で約300名の予約を受けており、平日稼働率上昇に寄与

- ▶ 部屋食プラン
夕・朝食ともに天悠特製二段重のお弁当を客室にデリバリー



年内で1,000名以上の予約あり

－ラグジュアリー＆バンケット事業－ ホテル椿山荘東京

- ▶ 宿泊者の8割が1都3県からの近郊旅行、近隣顧客取り込み施策が奏功
- ▶ 「東京雲海」などのプロジェクトが注目を集め、メディア露出が増加
- ▶ Go Toキャンペーンの対象に東京が追加されたことにより
9月18日から受客開始後、1か月間で年内の予約が**9,000室以上増加**

9月以降、報道番組や音楽番組「CDTV ライブ！ライブ！」、人気情報番組（「王様のブランチ」等）**50件以上**で紹介



メディア露出、Go Toキャンペーン効果により
第4四半期は宿泊部門の売上が前年を上回る見込み

- ▶ 料飲部門においても週末の慶事・記念日利用や、小グループ、宿泊者利用の増加に伴い、第4四半期の売上が前年の90%まで回復見込み

新たな料理提供スタイルへの取り組み



テイクアウトサービス



出張シェフサービス



With youおせち
(2名様分2セットをそれぞれ離れたお宅に配送)

- ▶ ホテルならではの料理を、今求められるスタイルでご提供します。

6月から開始したテイクアウトサービスは600件以上の利用あり

開業70周年を迎える2022年に向け、3カ年のプロジェクトをスタート

東京雲海



＜いつの時代も その時代が必要とする
オアシスであり続けること＞
当ホテルが掲げる存在意義に立ち戻り、
本年は6つのプロジェクトを実施

- 東京雲海
- 千の光のライトアップ
- 椿の植樹
- 聴蟲むしきき・時の鐘（江戸時代の音風景を再現）
- 祈り星（夜2回祈りの時間を）
- 庭園オーディオガイド（日英中の3カ国語）

東京雲海

様々な条件が整ったタイミングでのみ見ることが出来る雲海。その奇跡的な現象を、ホテル椿山荘東京の庭園で体感することができます。

客室から見下ろす幻想的な風景や、霧に包まれた特別な庭園散策をお楽しみください。

開業70周年を迎える2022年に向け、3カ年のプロジェクトをスタート



千の光のライトアップ

木々を一本一本丁寧に1000灯のLED投光器でライトアップすることで、生き生きと庭園の魅力を映し出します。木々を照らす千の光は、常にゆらぎ、時に強く光り、時に弱く灯り、時に消えたりと、動きのある光の演出により、庭園全体に溢れる自然の持つ生命の力を表現します。



椿の植樹

南北朝のころには既に椿が自生する景勝の地で「つばきやま」と呼ばれていたこの地。現在も約100種1000本の椿が時期をずらして咲く様子をお楽しみいただいています。この美しい景観を次の時代に受け継ぐために、3年かけて椿を植樹し、「つばきやま」を復活させます。

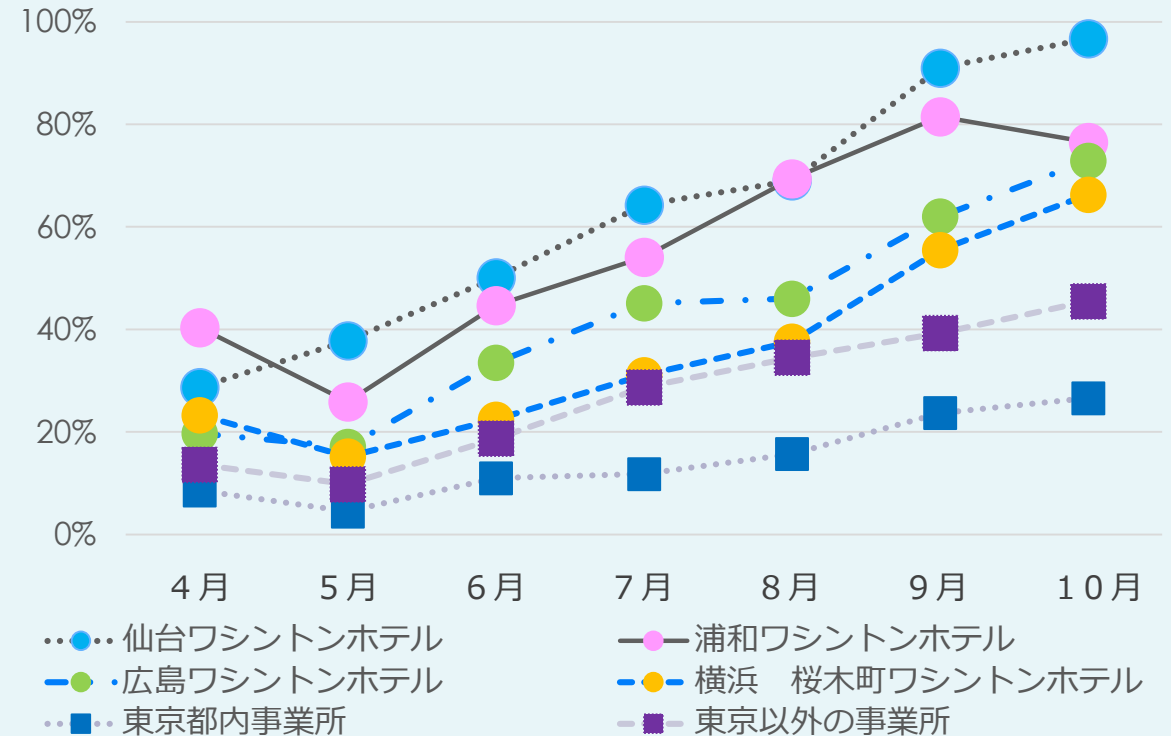


- ▶ Go Toキャンペーン対象に東京発着の旅行が追加された10月以降、予約進捗が改善
ビジネス需要に続き観光需要も回復しつつあり、**週末の利用が増加**
6月以降から回復傾向であった仙台では、さらに状況が改善し**9月以降は90%以上の稼働率**
- ▶ 事前予約不要のデイユース・テレワークプラン
など、新しいニーズに合わせた商品を展開
- ▶ 若手従業員中心の新商品開発プロジェクトを
立ち上げ、新たなアイデアによる商品開発を実施
- ▶ 「もっと楽しもう！Tokyo Tokyo」など各
自治体のキャンペーンも最大限に活用



Go Toキャンペーンの取り込みにより
第4四半期の予約進捗が大きく改善

＜稼働率推移＞



横浜伊勢佐木町ワシントンホテル
9月10日より新型コロナウイルス感染症軽症者受け入れ施設として自治体により一棟借上げ

政府による入国規制緩和の動き

▶ **韓国**や**シンガポール**などとの間で、ビジネス関係者などを対象に往来を再開

▶ さらなる緩和措置の一環として、感染状況が落ち着いている国や地域を対象に、一定の条件のもとで、滞在72時間以内のビジネス関係者の入国を認めることも検討



**韓国・シンガポール・
ベトナムに向けて販売開始**

**ビジネスでの宿泊需要を確実に取り込むため、
受け入れ態勢を強化し販売を開始**

✓チェックインの優先レーン設置

✓朝食の客室デリバリー

✓フライト到着時刻に合わせたチェックイン

中国からの個人旅行の需要を喚起

▶ 今後の入国制限緩和の動きを見据え、中国国内で話題のライブコマースの活用を検討
ライブ動画配信を通じて、施設の魅力や当社が強化している衛生環境に関する取り組みをアピール

損益計算書

	2019年 第3Q実績	2020年 第3Q実績	増減	主な増減要因
(百万円)				
売上高	50,035	17,699	▲32,336	
営業利益	▲720	▲16,725	▲16,005	主にWHG事業の減収影響 一方で営業費用削減効果もあり
EBITDA (営業利益 + 減価償却費)	2,898	▲13,464	▲16,363	
経常利益	▲593	▲16,823	▲16,229	
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲421	▲17,151	▲16,730	

部門別売上高および主要事業所の営業指標

部門別売上高 (1月～9月)

単位：百万円

	部門	売上高実績	前年比
W H G	宿泊	6,152	▲17,204
	その他	1,497	▲3,015
ラグジュアリー&バンケット	宿泊	602	▲1,012
	婚礼	2,153	▲4,653
	宴会	1,090	▲2,297
	料飲	1,261	▲1,227
	その他	719	▲301
リゾート	宿泊	1,808	▲1,158
	レジャー	656	▲595
	その他	123	▲140

営業指標 前年および当初計画との対比 (7月～9月)

宿泊部門		ADR (天悠は一人当たり宿泊単価)		稼働率	
		前年比	計画比	前年比	計画比
W H G (林館ホテルを除く)	合計	▲42.1%	▲52.0%	▲62.6pt	▲66.1pt
	東京	▲52.5%	▲65.5%	▲71.0pt	▲75.1pt
	東京以外	▲35.1%	▲37.2%	▲55.2pt	▲58.2pt
ホテル椿山荘東京		+9.7%	▲23.7%	▲34.5pt	▲40.5pt
箱根小涌園天悠		+1.2%	+2.8%	▲2.7pt	▲5.8pt

婚礼・宴会部門	婚礼 一人あたり単価		婚礼 人員		宴会 一人あたり単価		宴会 人員	
	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比
ホテル椿山荘東京	+72.1%	+64.0%	▲85.4%	▲80.9%	▲10.1%	▲8.0%	▲80.9%	▲83.8%
太閤園	+42.3%	+40.9%	▲76.8%	▲73.9%	+51.7%	+46.7%	▲83.5%	▲82.7%

レジャー部門	入場人員		入場単価	
	前年比	計画比	前年比	計画比
箱根小涌園ユネッサン	▲45.6%	▲50.0%	+5.8%	+4.8%

貸借対照表

(百万円)

＜資産＞	2019年12月	2020年9月	増減	主な増減要因
流動資産合計	11,272	13,121	1,849	手元資金強化
固定資産合計	91,999	87,854	▲4,145	投資有価証券の時価下落
資産合計	103,271	100,975	▲2,296	

＜負債・純資産＞	2019年12月	2020年9月	増減	主な増減要因
流動負債合計	20,768	23,156	2,387	手元資金調達により短期借入金増加
固定負債合計	56,063	71,644	15,580	手元資金調達により長期借入金増加
負債合計	76,832	94,800	17,967	
純資産合計	26,438	6,174	▲20,264	利益剰余金の減少
負債純資産合計	103,271	100,975	▲2,296	

セグメント別 売上高

	2019年 第3Q実績	2020年 第3Q実績	前年比
(百万円)			
売上高	50,035	17,699	▲32,336
WHG事業	27,870	7,650	▲20,220
ラグジュアリー&バンケット事業	15,319	5,827	▲9,492
リゾート事業	4,482	2,589	▲1,893
その他	2,362	1,632	▲729

※第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、営業施設の属するセグメントを一部変更しております。
 なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

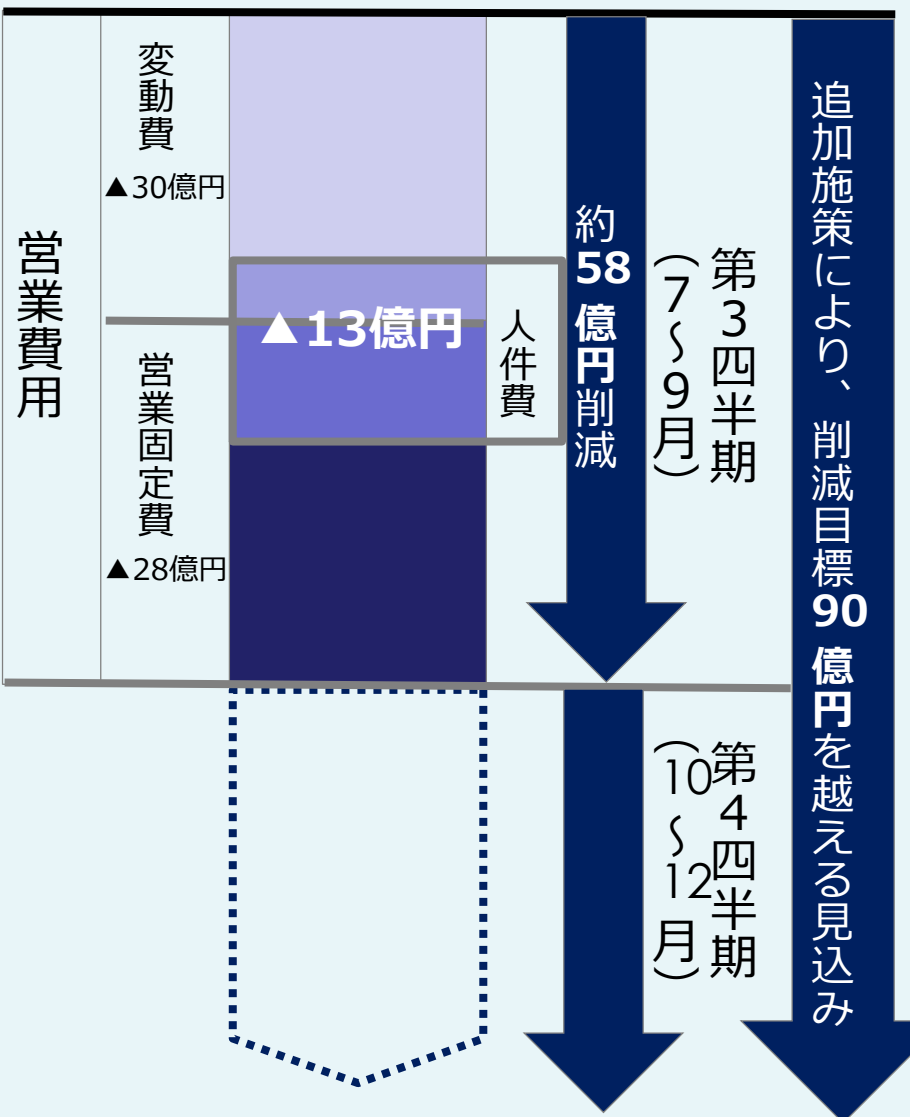
セグメント別 営業利益

	2019年 第3Q実績	2020年 第3Q実績	前年比
(百万円)			
営業利益	▲720	▲16,725	▲16,005
WHG事業	1,409	▲10,468	▲11,877
ラグジュアリー&バンケット事業	▲977	▲4,502	▲3,524
リゾート事業	▲591	▲879	▲288
その他	▲560	▲875	▲315

構造改革進捗状況 – 徹底的なコスト削減 –

下期（7～12月）年初計画からの削減額

※上期（1～6月）実績：年初計画から94億円削減



■ 人件費
7～12月削減目標：年初計画から15億円以上

7～9月の3カ月で
13億円以上削減

<主な施策>

- ・従業員の一部帰休：4月～当面
社員、契約社員、パートアルバイトなど全従業員約5,500名対象に
月平均9日の一部帰休を実施
⇒第3四半期にて雇用調整助成金（4～9月分）**約25億円を特別利益として計上**
- ・役員報酬の減額：4月～当面
4月から実施、9月以降は代表取締役の50%削減をはじめ、さらなる減額を実施

■ 変動費・営業固定費を含む営業費用
7～12月削減目標：年初計画から90億円以上

7～9月の3カ月で
約58億円削減

<主な施策>

- ・委託業務内製化と契約見直し（社外へのキャッシュアウトの抑制）：
客室清掃や食器洗浄などの外注業務の内製化や稼働状況に合わせた契約の見直し
- ・賃料減額交渉：賃料の一時的な減額を貸主に対して依頼
- ・不急の投資見送り

第4四半期では
冬季賞与支給なし、管理職基本給の5%減額
などの実施によりさらなる削減を予定

今後の事業計画

構造改革を推進すると同時に、大きく変化する事業環境を踏まえ、
中期経営計画（2020～2024）を見直し、**新たな事業計画を策定中**

➡ 年内に発表予定

【新たな事業計画 主な検討項目】

■ 構造改革

- ・ 運営体制：組織・体制の見直し、不採算事業の撤退など
- ・ 人事関連：人事制度の見直し、早期退職、人員の流動化など

■ 成長戦略

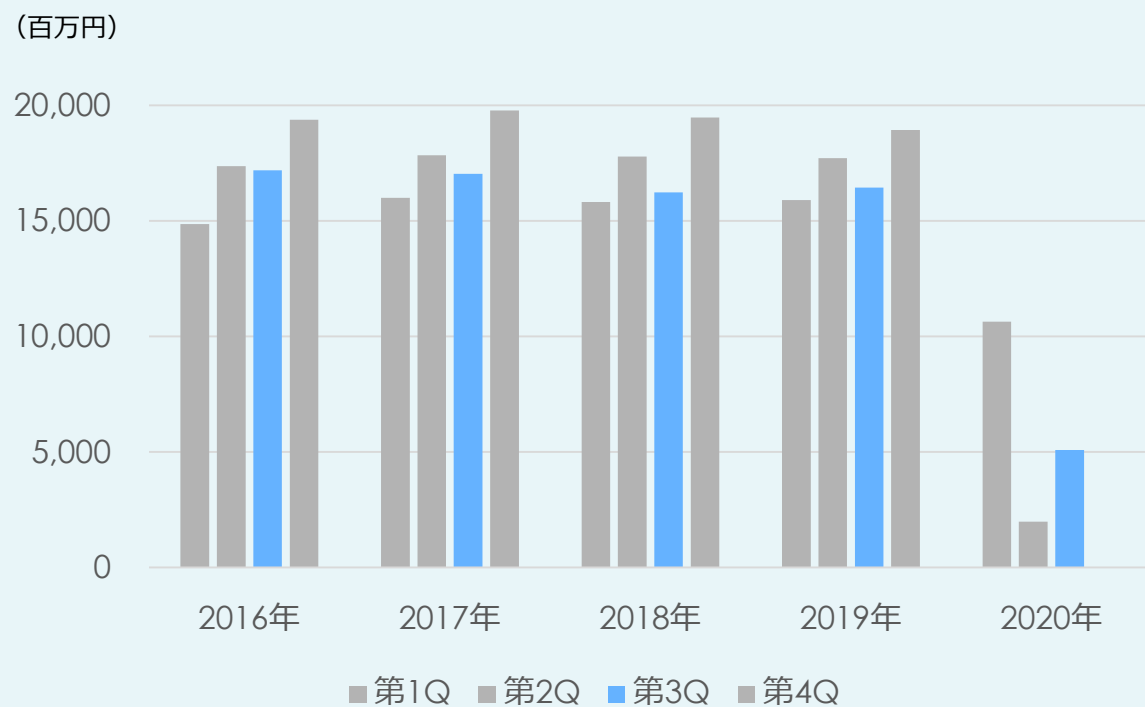
- ・ 中期経営計画の主要戦略を整理し、重要かつ緊急度の高い施策を前倒しで実施
- ・ ホテル椿山荘東京については、庭園を活かしたプロジェクトや婚礼の商品力・販売力強化にすでに着手
- ・ WHG事業については、拡大路線の見直しと既存事業所の構造改革を検討中

■ 資本・資金対策

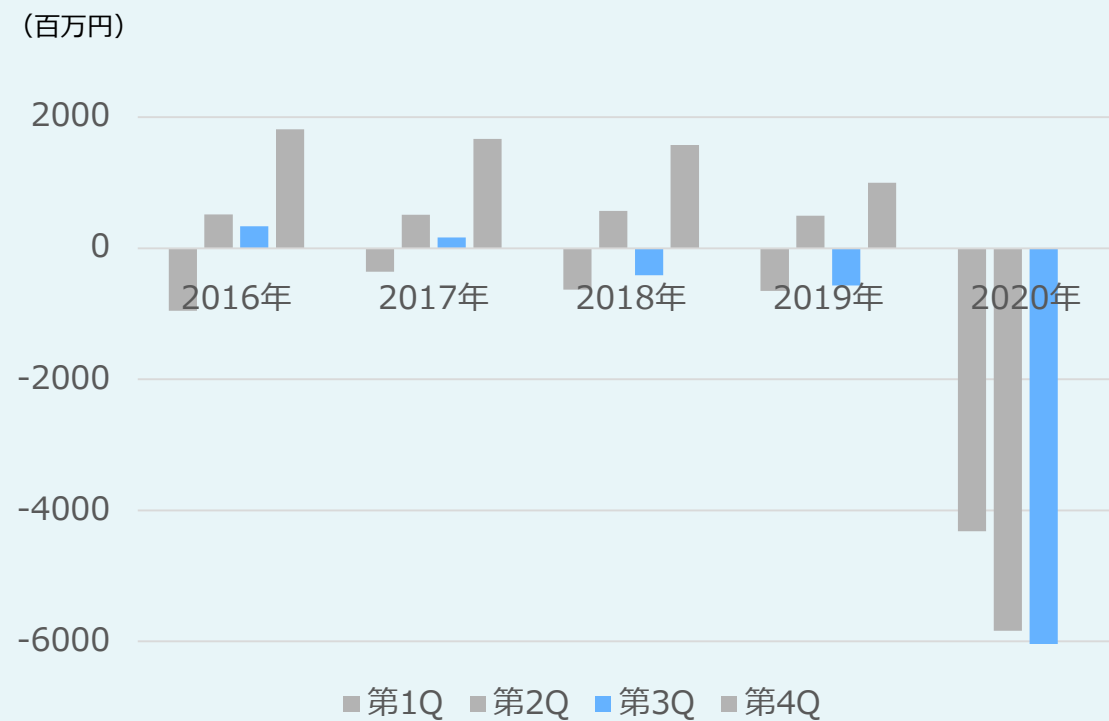
Ⅲ.参考資料

四半期別売上高・営業利益推移

売上高推移



営業利益推移



上場取引所	東京証券取引所市場第一部
社名	藤田観光株式会社
証券コード	9722
単元株式数	100株
事業年度	毎年1月1日～12月31日
基準日	12月31日
配当金支払株主確定日	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	毎年3月
発行済株式の総数	12,207,424株
発行可能株式総数	44,000,000株
決算期	毎年12月31日

施設一覧 (2020年11月10日現在)

WHG事業				ラグジュアリー&バンケット事業		リゾート事業			
「宿泊」 36拠点 11,002室 (開業予定1拠点含む)				「宿泊」 1拠点 267室		「宿泊」 12拠点 554室 (開業予定1拠点含む)			
■ワシントンホテル (21拠点 6,867室)		■ホテルグレイスリー (11拠点 3,198室)		ホテル椿山荘東京 267室		箱根小涌園 天悠 150室		ホテルやまなみ【MC】 26室	
仙台	223室	札幌	440室	「婚礼・宴会」 8拠点		箱根小涌園 美山楓林 13室		十和田ホテル【業務提携】 50室	
新宿(本館)	1,280室	銀座	270室	太閤園		箱根小涌園 三河屋旅館 2020年10月2日開業		「レストラン」 3拠点	
秋葉原	369室	田町	216室	桜苑		箱根小涌園 新ホテル (2023年1月開業予定)		レストランあかしあ亭	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	オペラ・ドメーヌ高麗橋		伊東小涌園 50室		箱根小涌園 蕎麦 貴賓館	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	マリーエイド		伊東 緑涌 7室		箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館	
横浜伊勢佐木町	399室	京都三条(北館)	97室	ザ サウスハーバーリゾート		藤乃煌 富士御殿場 19室		「レジャー」 3拠点	
浦和	140室	京都三条(南館)	128室	ルメルシェ元宇品		Nordisk Village Goto Islands 8室		箱根小涌園ユネッサン	
関西エアポート	504室	大阪なんば	170室	マリコレ ウェディングリゾート		永平寺 親禅の宿 柏樹閣 18室		箱根小涌園 森の湯	
広島	266室	那覇	198室	鞆ヶ谷ガーデン アグラス		湯河原温泉ちとせ【MC】 38室			
キャナルシティ・福岡	423室	ソウル	336室	「レジャー」 1拠点					
山形七日町【FC】	213室	台北(2021年開業予定)	248室	カメリアヒルズカントリークラブ					
山形駅西口【FC】	100室			その他事業		会員制リゾートホテル		海外現地法人 ・駐在員事務所	
会津若松【FC】	154室	■ホテルフジタ(2拠点 471室)		「宿泊」 1拠点 214室		「宿泊」 7拠点 460室		上海	
郡山【FC】	184室	福井【FC】	354室	ISORAS CIKARANG 214室		■ウイスタリアンライフクラブ			
立川【FC】	170室	奈良	2020年12月10日営業終了 117室	「レストラン」 4拠点		ヴェルデの森 100室			
木更津【FC】	146室			シビックスカイレストラン椿山荘		箱根 18室			
燕三条【FC】	103室	■ホテルタビノス(2拠点 466室)		和食 折紙 浅草		熱海 54室			
宝塚【FC】	135室	浜松町	188室	東京大学伊藤国際学術研究センター内レストラン【MC】		宇佐美 58室			
佐世保【FC】	190室	浅草	2020年7月15日開業 278室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】		野尻湖 64室			
いわき【MC】	148室					プロミネント車山高原 90室			
新宿(新館)【MC】	337室					鳥羽 76室			

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経理・財務IR部

TEL : 03-5981-7727

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2020年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。